

政策の柱	Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	2 商工業の活力を高める	施策名	③ 安定した経営基盤の確立
------	---------------------------------	----------------	--------------	-----	---------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 見込み	H23 H24見通し
◆企業経営における基礎体力を強化するため、安定した経営基盤の確立を支援している。 ◆中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、経営支援の一層の充実を図る取り組みを実施している。 ◆中小企業の資金調達の円滑化のための直接支援を実施している。 ◆中小企業との結びつきの深い商工団体との連携強化を図っている。	◆平成21年度の中小企業の製造品出荷額は、リーマンショックによる不況の影響が深刻化し、大幅に減少した。平成22年度においては、回復傾向にはあるものの、依然として厳しい状況が続いている。 ⇒引き続き、中小企業との結びつきの深い各商工団体への補助事業について、補助金交付先団体との意見交換等を通じ、情報等を共有し、相互補完できるよう連携の強化を図る。	—	中小企業の製造品出荷額	百万円	640,944	658,298	664,881	671,530	678,245	685,027	
課題	◆リーマンショックや震災による不況の影響が深刻化しており、中小企業においては、急激な社会環境の変化にも迅速に対応できるよう、安定した経営基盤の確立が喫緊の課題である。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22	H23		
					重要度	57.2	61.2	61.4	66.9	%	
					満足度	9.7	9.8	9.8	10.0	%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 実績	H24 実績			
1	商工会議所事業補助金	宇都宮商工会議所	S34	会員数	人	6,828	6,725	6,725	6,725	6,725	A	継続	中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、経営支援のより一層の充実を図る。
2	商工会議所中小企業相談所事業補助金	宇都宮商工会議所	S35	実施団体	団体	1	1	1	1	1	A	継続	中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、より効果的な事業補助のあり方の検討も含め、経営支援のより一層の充実を図る。
3	うつのみや市商工会事業補助金	うつのみや市商工会	H23	実施団体	団体	1	1	1	1	1	A	継続	中小企業者の経営の安定と商業の振興のため、より効果的な事業補助のあり方の検討も含め、経営支援のより一層の充実を図る。
4	青年会議所事業補助金	宇都宮青年会議所	S43	実施団体	団体	1	1	1	1	1	A	継続	次代を担う青年中小企業家を育成し、経営の安定と経営者としての資質を高めるため、支援の一層の充実を図る。
5	栃木県中小企業団体中央会事業補助金	栃木県中小企業団体中央会	S42	実施団体	団体	1	1	1	1	1	A	継続	事業の妥当性や今後のあり方について、検討を進めていく。
6	宇都宮工業団地管理運営補助金	社団法人宇都宮工業団地総合管理協会	H15	管理協会会員企業数	社	111	114	114	114	114	A	継続	宇都宮工業団地は、本市工業の中核であり、重要な産業拠点であることから、団地内の環境保全を確保するため支援を継続し、引き続き団地内企業との意見交換などを実施し、団地内企業の連携強化を図る。
7	大谷石利用促進事業補助金	市内で新増築等を行う際に内外装等の材料として大谷石を活用する建築主及び買主	H22	補助件数	件	—	—	8	30	32	A	継続	これまでの利用実績をもとに、制度内容の見直し等を進めながら事業を継続し、大谷石需要の拡大につなげていく。
				補助額	千円	—	—	2,500	7,800	8,800			
8	大谷石特性活用事業補助金	大谷石の特性を活用し新商品開発等を行う者	H23	プロジェクト件数	件	—	—	—	3	3	B	継続	本市を代表する地場産業であり、大谷石の特性を生かした新商品の開発支援を継続し、大谷石産業の活性化を図る。
						—	—	—	1				